宮地 徹三
公明党

地震・津波への対策は

問 ①津波ハザードマップの整備状況と市民への周知は。
②津波避難ビルの指定状況は。
③物資や資材の備蓄状況は。

答 ①年内配布に向け作成中で地域への説明会を開催し、今後、各地域の実情に応じた地区避難計画の作成が進み、具体的な避難行動につながるよう取り組む。
②市立大学と小中学校18施設、工業団地や立体駐車場など1地域、12施設を指定しており、引き続き拡充に向け取り組む。
③市防災計画の被害想定2万5千人に基づき、食料は現在約5万食その他毛布やテント、簡易トイレ等約50種類以上の物資を備蓄している。また、被災者のプライバシーや心身の状況等に配慮するため避難所用間仕切りユニットや介護衛生用品なども保有している。

塚本 裕三
公明党

低投票率への対応は

問 市長選、市議選で低投票率が続く要因とその対応策は。

答 一般的に投票率の高低に影響を及ぼす要因として、選挙の争点、投票日の天候などが言われてきたが、今年の世論調査等では、社会や政治への関心が減少しているという結果が出ている。
選挙管理委員会では、投票所、期日前投票所の環境整備を進め、若者たちがメッセージボードを持って同世代の若者たちに投票を呼びかける画像をホームページに表示し、投票参加を訴えてきた。

観光振興について

問 外国人を対象にした案内看板の設置は。

答 新たに設置する際は、多言語表記の看板を設置しており、観光パンフレットも多言語版を作成している。

田中 光洋
誠勇会

地場産業の育成支援は

問 地域経済活性化に向けた地場産業の育成支援は。

答 本市は、オンリーワン・ナンバーワン企業を中心とした多様なものづくり企業が集積し、地域経済の活力の担い手となっている。
今日の国際競争の激化や産業構造の変化の中、さまざまな経営課題を抱え、経営基盤確立のための新技術や新商品の開発などに果敢にチャレンジすることが求められている。
今後も産学官の連携による新技術・新商品の開発や、国内外での販路開拓の支援、経営課題解決のためのコーディネーター派遣等の施策により、地場産業の育成と振興を図り、今後とも個別の企業の生の声を聞き、効果的な支援策を講じる。

今川 享治
誠勇会

中心市街地の活性化は

問 ①※福山の未来づくりワークショップの取り組みの具体は。
②市営駐車場の週末や祝日の低料金の導入は。

答 ①参加者が、広場・通り・大型商業施設・空き店舗などのチームに分かれ、中心市街地の魅力的な資源を発見するフィールドワークを実施したほか、各チームがアイデアを出し、特色ある活動を社会実験として展開した。空き店舗チームが実施した「※まちの聞き屋さん」は、メンバー独自の活動として定期的に取り組まれるようになるなど、新たな市民活動が展開されるようになった。こうした取り組みの輪が広がる中で、新たな魅力とにぎわい創出に取り組む。
②料金改定は、回数券の割り引き拡大の条例改正を今議会にお願いしている。駐車場の料金は、消費税の改定に合わせ、料金体系のあり方を検討する。

※**福山の未来づくりワークショップ**：中心市街地の新たな魅力とにぎわいを創出するため、市民・商業者・ＮＰＯ等多様な主体の参加により始まった取り組み。